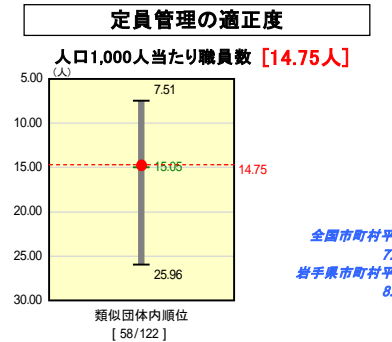
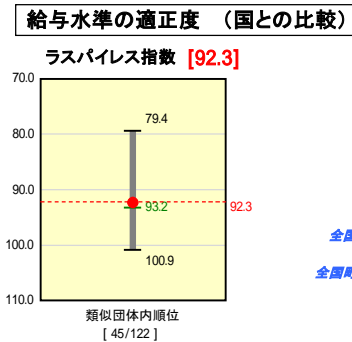
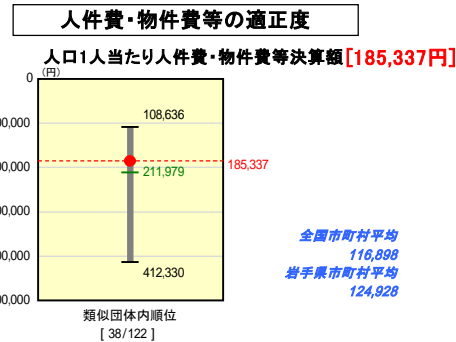
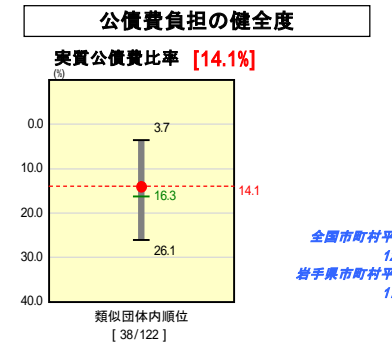
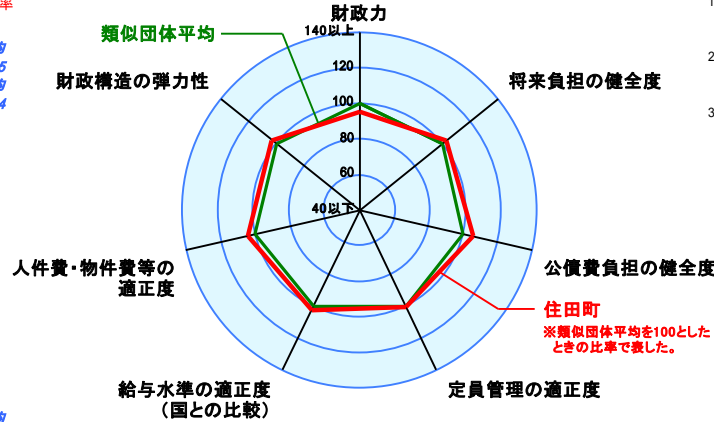
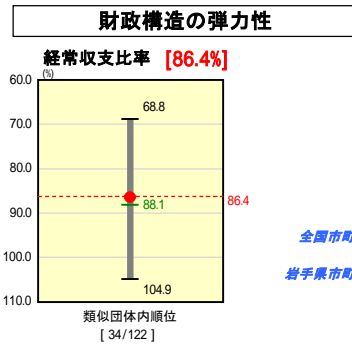
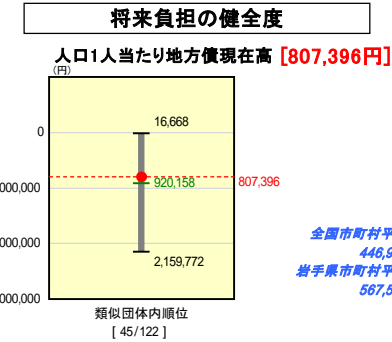
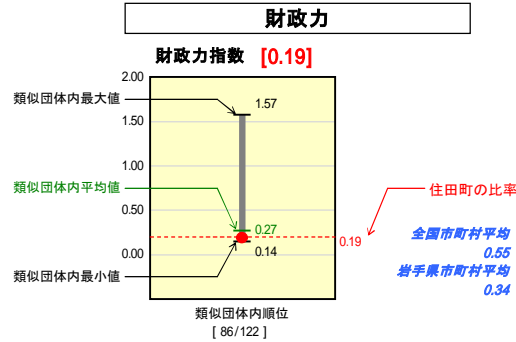


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 岩手県 住田町

人口	6,577	人(H20.3.31現在)
面積	334.83	km <sup>2</sup>
歳入総額	5,606,560	千円
歳出総額	5,395,997	千円
歳入総額	34,709	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

【財政力指数】 類似団体比△0.08 前年度比±0  
人口減少や全国平均を上回る高齢化率(平成19年10月1日現在38.05%)に加え、町内に中心となる産業がないことなどにより、財政基盤が弱く類似団体平均を0.08下回っている。今後も人口増加対策と産業振興などにより歳入確保に努める。

【経常収支比率】 類似団体比△1.7 前年度比△0.1  
経常一般財源の歳入は、臨時財政対策債の減(△15,921千円)により15,147千円減となった。一方同じく歳出では、物件費(+19,531千円)、補助費等(+9,664千円)、維持補修費(+6,218千円)が増になったものの、人件費(△37,431千円)、公債費(△23,718千円)が大幅に減になったことから、全体で18,433千円の減となった。歳入の減に比べ歳出の減が大きかったことから、経常収支比率は前年に比べ0.1ポイント減少した。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 類似団体比△26,642円 前年度比+13,231円  
人件費(+21,333千円)、物件費(+48,828千円)、維持補修費(+15,786千円)それぞれが増となり、全体で85,947千円の増となったため、人口1人当たりでは前年度に比べ13,231円増加した。今回の増はほとんどが単年度限りのもの(退職手当特別負担金、災害復旧のための道路維持など)であり、経常的な経費は抑制に努めているところである。類似団体と比較して26,642円下回っている要因はゴミ処理や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。

【ラスパイレス指数】 類似団体比△0.9 前年度比±0  
給与体系及び職員構成に変化がなかったことから前年度と同じ水準となっている。

【人口1人当たり地方債現在高】 類似団体比△112,762円 前年度比+65,391円  
地方債の残高は、地域情報通信基盤整備事業(+642,800千円)の増により前年度に比べ341,034千円増加したため、人口1人当たりの残高も65,391円増加した。しかし、病院・消防・ゴミ処理などを町単独で行っていないことやこれまで地方債の発行を抑制してきたことから、類似団体には比して112,762円下回っている。

【実質公債費比率】 類似団体比△2.2 前年度比△0.9  
地方債の償還額が前年度に比べ33,864千円減少したことから、実質公債費比率も前年度に比べ0.9減少した。また、地方債現在高と同様の理由で類似団体平均を2.2下回っている。今後も適正な事業の展開により現在の水準の維持に努める。

【人口1,000人あたり職員数】 類似団体比△0.30  
過去からの新規採用抑制策により類似団体平均を0.30下回っている。定員適正化計画に定める目標(H22.4.1現在で職員105人、H19.4.1現在107人(特別会計を含む))の達成に向け引き続き適正な定員管理に努める。